

保健
医療課

生命の大切さを学ぶ

思春期講座「いのちの学習」

市は、市内の中学3年生を対象に、生命の大切さを学び、将来の生き方につなげていくことを目的とした思春期講座「いのちの学習」を開催しています。本年は、7月から12月にかけて助産師・保健師・女性相談員などが各学校を訪問しました。

7月5日には高野中学校、10月15日には西城中学校で実施し、赤ちゃんと同じ重さの人形を抱いたり、体に重りを付けて妊婦の疑似体験を行ったりするなど、命の重さについて学んでももらいました。

また、聴診器で心臓の音を聞いてもらうなど、命を実感できるよう工夫しました。

講座を受けた生徒は「妊婦の大変さを身をもって知ることができた」「育ててくれた家族に感謝し、自分や友達の命を大切にしていきたい」と話しました。

市は、その他にも思春期の性の悩みやLGBT、薬物、デートDVなどについての講座も実施しています。



聴診器で心臓の音を聞く生徒



赤ちゃん抱っこ体験をしている生徒

東城支所

絵本の魅力がいっぱいの展示会

絵本原画展「むらかみやすなりの世界」



原画展を楽しむ来場者

10月16日～31日、東城まちなか交流施設えびすで「第24回絵本原画展」を開催しました。

本年度は、自然派アーティスト村上康成さんの絵本作品「まつている。」の原画や村上さんの手掛けた絵本など、約30点を展示しました。

期間中は、幅広い世代の人が訪れ、壁一面の大きさで描かれた山の絵をはじめ、鮮やかな色で描かれた原画など、普段は見ることのできない絵本の原画を鑑賞し、村上さんの世界観を楽しんでいました。

来場者は「作品ごとに細やかな遊び心が散りばめられていて、とても楽しかった」と話しました。

危機
管理課

防災・減災に向けた訓練を実施

災害対策本部運営訓練

11月1日、庄原市ふれあいセンターで「災害対策本部運営訓練」を開催しました。

この訓練は、災害時に防災気象情報や災害発生情報を踏まえ、市と関係団体がどう判断・対応するのかを再確認し、防災・減災に関する知識と技能を身に付けることを目的としています。

当日は、庄原市と備北地区消防組合、庄原市消防団、広島県北部建設事務所庄原支所の職員が参加し、大雨による災害を想定した図上訓練を実施しました。

まず、各団体はそれぞれの役割に合わせた班に分かれました。訓練が始まると、進行役が各班に気象や河川の水位、災害発生時の情報を伝達。各班はその情報を基に、避難所開設や情報の適切な処理、関係団体への伝達・連携などを行いました。

参加者は「実際に起きた災害を想定した訓練だったので、伝達される大量の情報に混乱したが、各班と連携し対応することができた。災害時、市民の生命を守るために自分がどう対応すべきか、再認識できる、よい機会になった」と話しました。

市は、今後も市民の安心・安全のため、防災・減災に向けた取り組みを進めていきます。



図上訓練を行っている様子

物販拠点施設等
リレーコラム
Relay column

Vol.8

食彩館しようばらゆめさくら

商工観光課観光振興係 ☎0824・73・1179



店内の様子

食彩館しようばらゆめさくらには、館内の店舗ごとに、それぞれ特色のある商品の製造・販売を行っています。

このたび、館内の飲食店「そば処とんぼ」が新たにオープンしました。

こだわりは、庄原産の新鮮な野菜などを使用した揚げたての天ぷらと、店内製麺工房で作る自家製麺、そばつゆの調味料「かえし」を、2カ月熟成させて作るだしです。

また、そばを1から3玉まで同じ料金で用意しているほか、テイクアウトも実施しています。お気軽



冬期限定「鶏玉あかけ蕎麦」

軽にご利用いただき、地元産の旬な食材をご堪能ください。

営業時間は、10時30分から15時です。

店内では、出入口付近へ消毒液の設置や、換気の徹底など新型コロナウイルス感染症防止のための取り組みも行っています。

新しい店舗が加わったことにより、ゆめさくらとしてさらなる「元気の出るみんなの市場」を目指しながら、地域活性化につながるよう取り組みを進めます。スタッフ一同、皆さんのお越しをお待ちしています。

生涯
学習課

多種多様な作品が勢揃い

第17回庄原市美術展覧会



絵画や写真の展覧会場

11月3日～18日、田園文化センターで「第17回庄原市美術展覧会」を開催しました。

本年は、市民の皆さんから応募があった絵画や写真、工芸、書など170点の作品を前期・後期の2回に分けて展示しました。

展示作品には、ちぎり絵やガーゼ染めで作られた工芸品など、オリジナリティーが溢れていました。

また、展覧会の初日には、表彰式が行われ、応募作品の中から7点が大賞に選ばれました。牧原明人教育長は表彰式で「これからも芸術の振興に寄与してもらいたい」と激励のメッセージを贈りました。

展覧会の来場者は「どれも個性的な作品ばかりで、とてもワクワクした」と話しました。

社会
福祉課

恒久平和を願って

庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典



式典会場の様子

11月17日、庄原市総合体育館で、「令和3年度戦没者追悼式並びに平和祈念式典」を開催しました。

当日は遺族など51人が参列し、本市出身の戦没者2923人を追悼しました。

式典で木山耕三市長は「今後とも戦争の体験を風化させることなく、戦争の悲惨さと平和な社会の尊さを訴えていきます」と述べました。

また、庄原市戦没者遺族会の井澤聖昭会長は「残酷な戦争による戦没者の犠牲を知ってもらうことを心から願います。先人への感謝と悲惨な戦争の歴史を決して風化させてはいけません。戦没者への思いを次世代に継承することを改めて誓います」と述べました。

式典では、市内の小・中学校などから寄せられた折り鶴の作品を展示し、閉式後、市役所本庁舎の市民ホールでも展示しました。